

2011年9月28日

## リチウムイオン電池用電解液の中国における製造開始について

三菱化学株式会社

三菱化学株式会社(本社:東京都港区、社長:小林 喜光)は、リチウムイオン電池用電解液を中国で製造販売するため、下記のとおり、2012年2月をめどに新社を設立することを決定しました。

今後中国では、これまでの民生用に加え、車載用のリチウムイオン電池の生産拡大が見込まれ、電解液の需要も大きく伸びることが予想されています。

三菱化学はこの需要増に対応し、リチウムイオン電池用電解液の生産能力を確保するため、中国に電解液製造販売新社を設立します。

そして、既に設立発表済みの欧米の事業拠点も含め、世界展開をさらに加速します。

なお、この電解液新社は、昨年9月に設立を発表した負極材の製造販売会社「青島雅能都化成有限公司」に続く、三菱化学の中国における電池材料事業の新しい拠点となります。

三菱化学はリチウムイオン電池の主要4材料(電解液・負極材・正極材・セパレータ)すべてを取り扱う企業として、お客様のニーズに合った最適な組合せを提案してゆくとともに、安定した品質と国内外にわたる万全の供給体制を整え、電池材料事業のさらなる拡大に努めてまいります。

### 記

- 会社名 検討中
- 所在地 中華人民共和国江蘇省常熟市
- 製造能力 10,000トン/年
- 設備投資額 約25億円 (予定)
- 営業運転開始 2012年末 (予定)

以上

【ご参考】

三菱化学が販売するリチウムイオン電池主要 4 材料の製造能力増強計画

(単位:セパレータのみ「平方メートル/年」・それ以外は「トン/年」)

	現行能力と 立地	決定済みの増強計画と 立地・営業運転開始時期	2015 年時点の 目標能力
電解液	8,500 四日市事業所	増設 + 5,000 四日市・12 年 2 月  新設 + 10,000 英国・11 年秋  新設 + 10,000 米国・12 年夏  <b>新設 + 10,000</b> <b>中国・12 年末</b> <b>(本日発表)</b>	50,000
負極材	7,000 坂出事業所	新設 + 4,000 中国・12 年 3 月	35,000
正極材	2,200 水島事業所	未定	15,000
セパレータ	1,200 万 三菱樹脂(株) 長浜工場	増設 + 1,500 万 三菱樹脂(株)長浜工場 12 年夏	7,200 万

本件に関するお問合せ先  
三菱化学(株)広報室 電話:03-6414-3730